



沼田での生活 人とのつながり温かい

利根沼田の風景などをテーマに描いた自然や生き物、少女など鮮やかな色彩で詩情豊かな作風が人気の木版画。「懐かしい故郷には思い出がたくさん。自分の幼な心のよき時代を作品に表現しています」

旧月夜野町出身で沼田女子高校を卒業した木版画家・画家の池田実穂さんは、東京学芸大学卒業、同大学院修了後、04年にイタリアに留学。大理石の採石が有名で多くの芸術家が活動する同国のカッラーラを拠点に活躍していました。

昨年6月、日本国内での基盤を築

くために帰郷。沼田にアトリエを構え、10月には、自然との共存や子どもたちの明るい未来をテーマにした池田さんの作品が市政と結びつくことから、市は「ヌマタ・アート・アンバサダー」に委嘱しました。

アンバサダー最初の活動となる企画展『TERRACE美術回廊 池田実穂「アペルタ展」』が、テラス沼田で開かれています。市庁舎の通路をギャラリーに見立てて作品を展示し、ラリー形式で建物内を散策しながら鑑賞を楽しめます。池田さんの作品には少女が多く登場。自身の

メッセージ性を投影し、髪の毛やスカートなどで情感を表現しているといっています。「どの女性も少女時代を経験しています。言葉では伝えきれない思いを木版や絵で表すことで、共感したり何かを感じてもらえたりすれば」と話します。幅広い年代に受け入れやすい作風も特長。「幸せな気持ちになり、明日への希望を見い出してほしい」と笑顔を浮かべます。

高校卒業以来の利根沼田での生活は、人とのつながりの強さを感じ、版画の材料をそろえるにも、沼田の知人に紹介してもらったという池田さん。インターネットでは知り得ない地域の情報があり、人と直に付き合えるのがあります。

「殺伐とした今の時代、生きるためには人との関係が大切。ときには煩わしさもありますが、そういった中にこそ温かみを感じられます」と話します。毎年1、2回、市内や県内で開く個展には、古くからの知人や同級生も訪れ、久しぶりの再会を喜び合い、制作活動への応援に感謝しているといいます。

今後はさまざまな媒体やメディアを通して、日本とヨーロッパの双方で作品を大きく展開することを目指します。アンバサダーとしては、市民が美術や文化に目を向けてもらえる一助になりたいとし「深みある心の豊かさを感じられるような制作に励みたい」と意気込みます。



1.大理石でできたカッラーラの山並み 2.彫刻家で夫の高橋健二さん(右)とイタリア・マントヴァで合同個展 3.木版画『HOPE』の木版



特集1 池田実穂さん 芸術でつなぐイタリアと利根沼田

## アートで彩る 自然と人の絆



芸術を通して沼田の魅力を発信する「ヌマタ・アート・アンバサダー」の池田実穂さんは、昨年6月から本市を拠点に活動中。テラス沼田で開かれている企画展『TERRACE美術回廊 池田実穂「アペルタ展」』では、生まれ育った利根沼田の温かい思いや未来への希望溢れる作品が市民を楽しませています。

問合せ 企画政策課政策推進係 内線4033

